



第号58号平成29年 2月吉日  
ほどがやカルガモの会  
広報委員会 発行

〒240-0006

横浜市保土ヶ谷区星川1-12-6

メゾンベジタブル 1階

TEL 045-342-0433

E-mail: [karugamo-kai@minos.ocn.ne.jp](mailto:karugamo-kai@minos.ocn.ne.jp)

## 秋のバスハイク

11月9日(水)朝早く雨が降りましたが、それもやんで曇り空でスタートしました。カルガモの会は福祉バス あおぞら2号で、朝の9時に「調布市深大寺」へ向けて、星川駅前を出発しました。バスガイドさんと旅行会社の方のお話に、耳を傾けながら、バスは順調に進みました。深大寺に着く10分前に、神代植物公園に寄りました。こちらで記念写真を撮りました。植物公園には、バラ園があり大温室にはラン、ベコニア、スイレン等が展示されていて、熱帯植物などを見学しました。深大寺では「雀のお宿」で、お蕎麦を美味しく頂きました。深大寺では、本堂や延命観音や「鬼太郎茶屋」を回り、お土産も買いました。そして無事に星川駅に到着しました。とても楽しい一日でした。

広報委員 福島



## 秋のバスハイク

11月9日(水)9時、星川駅前を福祉バス「あおぞら2号」で出発しました。当日は関東地方に「木枯らし」1号が吹くという寒い朝でした。神代植物公園に着くころから、少し日が出て来て、公園のバラ園の秋バラと大温室を見学しました。昼食は「雀のお宿」で[深大寺蕎麦と天ぷら]を大変美味しく頂きました。昼食後は自由行動で、それぞれ楽しみました。らく焼きや、深大寺のお参り、参道でのお土産の買い物をしました。日差しのある所では、平日の日でも参道には、人があふれていました。今回のバスハイクは、朝方が寒かったが、昼ごろから暖かくなり、帰りはスムーズに、星川駅に到着しました。楽しい一日でした。

イベント委員 井上(文)



お食事処で深大寺蕎麦を、皆さんで頂きました。  
大変おいしい蕎麦でした。



神代植物公園のダリア園



らく焼き体験に挑戦しました

## ほっしい祭り

11月20日(日)10:00～14:00「ほっしいのワイワイフェスティバル」が、「かるがも」で開催されました。当日はお天気が良くて、開会の太鼓の音や多くの人で活気付いていました。お餅をついたり、焼きそば・たこ焼き・たい焼きなど、会場は大賑わいでした。カルガモの販売した「くるくるレインボー」は、午前中に30本、午後には50本を追加しましたが、大好評で売れ続けて、合計80本が完売しました。また今後も「くるくるレインボー」を作ります。



広報委員 荒木

## 第34回 保土ヶ谷区社会福祉大会に出店

平成28年12月17日(土)に、保土ヶ谷公会堂にて「ほっとなまちづくりフォーラム～第34回 保土ヶ谷区社会福祉大会～」にカルガモ製品を販売しました。メンバーが版画で作成した、平成29年度のカレンダーが好評で、当初は昨年の実績を基に、5本用意して行きましたが、追加にて用意することになりました。日頃皆さんが、版画に一生懸命取り組んだ成果だと思えます。

製品管理委員 川口





## ふれあいコンサート

12月14日(水)「ふれあいコンサート」が開かれました。

まず「童謡と唱歌を歌う会」の皆さんの美しい歌声で心が洗われ、優しい気持ちになりました。続いて「カルガモの会」の発表です。「ひよっこりひょうたん島」を合奏し、「エーデルワイス」をトーンチャイムで演奏しました。

カルガモに美しい音色が響き渡りました。「マイウェイ」と「世界に一つだけの花」を元気に合唱。次にゲストのマンドリン奏者の横内正代さんと、藤川典子さんのキーボード、藤川裕介さんのパーカッションのコラボ演奏で、ウエスタンソングメドレーとロシア民謡メドレーを聞きました。「シングルベル」「赤鼻のトナカイ」「聖夜」とクリスマスソング、そして「青春時代」と「カルガモの会の歌」を合唱し、盛大に幕を閉じました。いつも耳にする音楽も、マンドリンの音色によって随分と印象が変わっていて、とても素敵でした。

広報委員 荒木



## 納会

12月26日(月)午前中に、センターの大掃除が終わりました。

昼は皆で選んだ「崎陽軒」の和風弁当を食べ、今年一年を振り返り、良かった事や反省などをして、来年の目標をそれぞれ発表し、楽しくセンターに通うことを誓いました。

イベント委員 松倉